

Iターン女子に聞く!!

市長とカフェトーク開催



カフェトークの様子

市では、定住促進のためのさまざまな取組を行っており、そのひとつに平成27年度からスタートした「出雲大好きIターン女性支援事業」があります。

この事業は、市内に初めて移住し、市内事業所に雇用された20歳以上の独身女性に対し、引越助成金、家賃助成金を、対象者を雇用する市内事業所に就業助成金を交付するもので、今年度はこの事業を活用して、9人の方が出雲に移住しています。

昨年12月15日、この9人の女性と市長による「出雲大好き♥ I ターン女子 市長とカフェトーク」を開催しました。当口は、出雲へ移住したきっかけや出雲での生活で感じたことなど、率直な思いを語つていただきました。

お話を中からは、この地に住むわたしたちにとっての「あたりまえ」の中、「大事にしていくべきこと、見直すべきことなどが見えてきたのです。

出雲に来たきっかけ

長南美穂さん

出身は東京なのですが、東京ではないところで働きたいと思い、いろいろな地域のIターンフェアに行つていました。その時に応えていただいた方の柔らかい雰囲気が気に入つて、この人たちと関わつてみたいなど思ったのがきっかけです。移住してみて、生活にもそんなに不便さも感じることなく、出雲での生活を楽しんでいます。

田中洋子さん

こちらに来る前から、毎月出雲大社にお参りしていました。それをきっかけに地元の方々とつながりが生まれ、そのご縁で出雲大社に就職が決ったので、移住を決めました。一切縁のない地域でしたが、それこそご縁がつながつての移住となりました。

金城恵奈さん

今、薬局の受付の仕事をしているのですが、特にお年寄りの方は何を言つているのか全くわかりませんでした。3回くらい聞き返してもわからなかつたので、「すみません、お願ひします」と言って、他の人に変わつてもらつたこともあります。出雲弁は濁点が多いように思います。

藤野愛子さん

私も全然わかりませんでした。職場の人でも、早口で出雲の人同士がしゃべっていると聞き取れないですね。ちょっと慣れたかなと思いますが、やっぱりお年寄りの方と接するときは、わからないですね。

就職活動をしていた際に、専門学校の

先生から出雲の企業を勧められ、8月に初めて面接で来て、採用されたのがきっかけで10月から移住しました。こちらに来てまだ2か月しか経つてないので、出雲のことをいろいろ知つていきたいです。

出雲弁について

原嶋裕菜さん

こちらに来る前から、毎月出雲大社にお参りしていました。それをきっかけに地元の方々とつながりが生まれ、そのご縁で出雲大社に就職が決ったので、移住を決めました。一切縁のない地域でしたが、それこそご縁がつながつての移住となりました。